

海洋理工学会 平成8年度 春季大会

期 日:平成8年4月5日(金)6日(土)

会 場:東京水産大学(東京都港区港南4-5-7)

(A会場)食品生産棟1階 講義室-13

(B会場)資源育成棟1階 講義室-資100A

主 催:海洋理工学会

協 賛:日本海洋学会, 日本水産学会, 日本気象学会, 日本造船学会, 日本機械学会, 応用物理学会、海洋調査技術学会, 航空宇宙水産海洋研究会, 電子情報通信学会, テレビジョン学会, 計測自動制御学会, 電気学会

参加費:一般3,500円, 一般学生2,000円, 正会員1,500円, 学生会員1,000円

プログラム:

4月5日(金)

9:30~12:00 公開講座「世界と日本の食料供給の現状と将来展望」

コンビーナ:高橋 正征(東大・教養)

9:30~ 趣旨説明 高橋 正征(東大・教養)

9:45~ 世界の食糧供給の長期展望

大賀 圭治(農水省国際農林水産業研究センター・海外情報部長)

10:25~ 日本の食糧供給の現状と将来(農産物)

伊藤 健一(農水省大臣官房参事官)

11:05~ 日本の食料供給の現状と将来(水産物)

森本 稔(水産庁海洋漁業部審議官)

11:45~ 総合討論 司会:高橋 正征

13:00~17:00 シンポジウム「海洋生態系モデルとは何か」

コンビーナ:中田喜三郎(資源環境技術総合研究所)

13:00~趣旨説明:海洋生態系モデルの現状 中田喜三郎(資源環境技術総合研究所)

13:30~ 沿岸における流動モデルの現状のレビュー:生態系モデルとの結合という観点から

田中昌宏(鹿島建設(株)技研)

14:10~沿岸生態系モデルを用いた水質解析

田口浩一((株)CTI)

14:50~海洋における底生生態系モデル解析

畑 恭子(新日本気象海洋(株))

15:30~ 炭素循環と海洋生態系モデル

Arnold Taylor(Plymouth Marine Lab.)

16:20~海洋生態系モデルの新たな展開

岸 道郎(東大海洋研)

4月6日(土) 9:30~17:10 一般講演

A会場

9:30~10:50 座長 岸 道郎 (東大・海洋研)

- A1. IDモデルによる噴火湾生態系のシミュレーション
○寺澤知彦, 田口浩一 (CTI) 中田喜三郎 (資環研)
- A2. 生態系モデルによる博多湾水質解析
中田喜三郎 (資環研) ○野村聡子, Setyo Budi Susilo, 杉森康宏 (東海大・海洋)
- A3. 鎮海湾への生態系モデルの適用
堀口文男, Cha-Kyum Kim, 中田喜三郎 (資環研)
- A4. 海洋動物プランクトンの生残および初期発生におよぼす紫外線 (UV-B) の影響
井上輝之, ○長沼 毅, 上 真一 (広島大・生物生産)

11:00~12:00 座長 荒井修亮 (京都大・農)

- A5. バイオテレメトリーによるブリの遊泳行動解析
○光永 靖, 笠井亮秀, 坂本 亘 (京都大・農) 山本章太郎 (神奈川県総研・相模湾支所)
- A6. バイオテレメトリーによるビワコオオナマズの回遊測定
○北川貴士, 高井則之, 坂本 亘, 荒井修亮 (京都大・農)
- A7. 鯨生態観測衛星システムにおけるプローブ装着法 ○林 友直 (千葉工大)

12:00~12:30 海洋理工学会総会

13:30~15:10 座長 角井嘉美 (電総研)

- A8. 流星バースト通信による漂流ブイデータの伝送実験
○道田 豊, 岡克二郎 (水路部) 小林 浩 (ハイテクリサーチ)
福田 明 (静岡大) 奇高三和子 (水路部)
- A9. 定期的にデータ送信を行う水没式係留ブイの開発
石川孝一 (気象庁海洋気象部)
- A10. 海洋環境光LANシステムモデルの実水域実験
飯高 弘 (電総研) 山口正義 (住友電工)
- A11. 浮上型XBTの開発 竹内俱佳, ○藤井厚史, 永井 豊 (電通大)
- A12. 200Hz海洋音響トモグラフィ観測システムによる1000Km双方音波伝搬実験
○榊田尚志, 中埜岩男, 中村敏明, 藤森英俊 (海技センター)

15:30~17:10 座長 竹内俱佳 (電通大)

- A13. 音響による海中懸濁粒子分布測定の基礎的検討
○文 鐘旭 (電通大) 竹内俱佳, 石川和男, 飯高 弘, 佐藤宗純 (電総研)
- A14. ブイ搭載を考慮した植物プランクトン計測のための小型海中レーザーレーダの開発

○齋藤俊幸, 飯高 弘, 佐藤宗純 (電総研)

A15. 蛍光法による植物プランクトン色素濃度測定の精度

○中山和子, 千賀康弘 (東海大・海洋)

A16. 海洋生物同定のためのリアルタイム画像処理手法の開発1

秋葉龍郎, ○中野 洋, 角井嘉美 (電総研) 津田良平 (近畿大・農)

A17. Measuring Sediment Particle Sizes with a Laser in-situ Instrument

Y.C.Agrawal and H.C.Pottsmith (Sequoia Scientific, Inc., USA)

B会場

9:30~10:30 座長 久保田雅久 (東海大・海洋)

B1. 風波素面勾配の風速依存性:外洋と沿岸域の比較 ○菅野 進 (芙蓉海洋開発)

B2. 衛星同期観測データの時間, 距離依存性

○中埜岩男, 藤森英俊 (海技センター)

B3. マイクロ波散乱計による海上風観測に対する観測環境の影響について

○江淵直人 (東北大・理), Hars C.Grabner(マイアミ大)

10:40~12:00 座長 江淵直人 (東北大・理)

B4. JERSとEERS-1のSARによる風浪の解析

○秋山正寿, 趙 朝方, 杉森康宏 (東海大・海洋)

B5. 衛星画像データへの2次元Wavelet解析の適用-方向特性の検出-

○諏訪純, 樽松明 (電通大・電子) 久保田雅久, 杉森康宏 (東海大・海洋)

B6. 日本近海における波浪モデル実験-WAmodelとJAWmodelの比較-

○小峰裕子, 趙 朝方, 秋山正寿, 小沢健一, 杉森康宏 (東海大・海洋)

B7. 無次元粗度と波齢の関係-平塚防災研観測塔観測資料(1994.1995)の解析

○伊東永徳, 秋山正寿, 小沢健一, 趙 朝方, 杉森康宏 (東海大・海洋)

13:30~14:50 座長 川崎 清 (中央水研)

B8. 北海道東方沖地震の津波とその特徴

安田恭崇, 岡田喜裕 (東海大・海洋) 都司嘉宣 (東大・地震研)

B9. 日本海東縁部での津波数値計算

山縣延文, 吉永清人, 田所篤博 (運輸省) 山下竹宣 (建設省)

播磨宗治 (農水省) 伊藤勝一 (水産庁) ○糸井正夫 (新日気)

B10. 衛星データ小規模情報システムの試作 その2-Topex/Poseidon衛星による黒潮流路の推定-

久胡隆司, 木村典嗣, 岡田喜裕 (東海大・海洋)

B11. ニューラルネット解析による衛星画像を利用した漁海況予報の可能性

○為石日出生 (漁情センター) 小松輝久, 青木一郎, 杉本隆成 (東大・海洋研)

15:10～16:50 座長 大塚 清 (海技センター)

B12. 衛星画像によるサンゴ礁域のモニタリング

○川崎 清, 広江 豊 (中央水研)

B13. 人工衛星データを用いた潜熱フラックスの推定

○久保田雅久, 三森祥一 (東海大・海洋)

B14. 「SEA- ω 計画」ー全球的海洋観測・研究計画ネットワークの構築ー

○浅井恒雄 (日本経済新聞) 成田 仁 (三井造船)

B15. 科学技術振興調査費による「海洋観測データの管理・提供システム」

大塚清, 直井純, ○坪内千園, 黒田芳史, 柏野祐二 (海技センター)

B16. 赤潮情報の広域ネットワーク型データベース化に関する研究

○広野貴一, 土居原健 (アジア航測) 遠藤 進 (日本水産資源保護協会)